【15. 選択領域（6時間）：教師の実践的指導力を支える理論・技法Ⅱ】

講習内容	これからの学校教育を担う教師の資質能力として、「実践的指導力」「課題対応力」の必要性が強く問われています。本講座では、「校内・保護者・地域連携の在り方」「教師が日常的に使えるカウンセリングの理論・技法」について、様々な事例を取り上げながら、具体的に学びを深めます。						
講座番号	講座テーマ	内容			受講対象	時間	担当者
		講座概要	到達目標	キーワード			
⑮-1	育成を目指す資質・能力の明確化に向けて ～グループワークとESDを通して学ぶ～	1.「生きる力」以来、様々な資質・能力に関する提言がなされている。汎用的能力、学びそのものの意味とその評価について考える。 2.ESDはどうなったか ①ESDの復習 ②国連持続可能な開発ための教育の10年からSDGsへ	生徒が身に付けるべき資質・能力について理解し、アクティブラーニングでどのような力がつくのかを考え、今後指導方法改善に生かすことができるようにする。 また、ESDについて理解を深め、新学習指導要領にある「どのような未来を創っていくのか」を教師自らが考える糧とする。	資質・能力 汎用的能力 学ぶことの意味 ESD	中・高等学校全教諭	3	井中　宏史
⑮-2	教師が日常的に使えるカウンセリングの理論と技法	本講義では、子どもや保護者とのコミュニケーションに役立つカウンセリングの理論と技法を、講義と演習を通して学ぶことを目標とする。	1. カウンセリングの基本的な理論と技法を理解する。 2. 自分のコミュニケーションの特徴を理解し、子どもや保護者に寄り添うためのコミュニケーションの仕方を身につける。	「カウンセリング」 「子どもや保護者に寄り添うコミュニケーション」	中・高等学校全教諭	3	木村美奈子